

チャレンジドリル①

正答数

11

マーカー



月 日

年 組

番

名前

① 次の文の主語と述語を、それぞれ一つずつぬき出しましょう。

(1) わたしたちの 学校は 今年 百周年を むかえます。

主語(

) 述語(

)

(2) ぼくの 住んでいる 村に デパートは ありません。

主語(

) 述語(

)

(3) 台所で 夕食を 作っていた 母が 大声で わたしを よんだ。

主語(

) 述語(

)

(4) かんそうした アフリカの さばくでは 少しの 雨も ふらない。

主語(

) 述語(

)

② 次の——線の言葉を、国語辞典で調べる形(言い切りの形)に直しましょう。

(1) 毎日、早く起きよう。

(

)

(2) 今日、わたしは手紙を書いた。

(

)

(3) かれの名は広く知られている。

(

)

(4) コスモスが風にゆれている。

(

)

(5) よく考えれば、きっとわかる。

(

)

(6) 紙ひこうきがとんでいる。

(

)

(7) 夕日がとても美しくかった。

(

)

チャレンジドリル①

①

(1) 〔主語〕 学校は

〔述語〕 むかえます

(2) 〔主語〕 デパートは

〔述語〕 ありません

(3) 〔主語〕 母が

〔述語〕 よんだ

(4) 〔主語〕 雨も

〔述語〕 ふらない

②

(1) 起きる

(2) 書く

(3) 広い

(4) ゆれる

(5) 考える

(6) とぶ

(7) 美しい

チャレンジドリル②

正答数

16

マーク



月
日
年
組
番

名前

① 次の部首名の漢字を、あとの□から二つずつえらんで書きましよう。

(1) さんずい……

(2) うかんむり……

(3) ごんべん……

(4) たけかんむり……

(5) きへん……

(6) くがまえ……

(7) おおがい……

(8) もんがまえ……

(9) しんによう……

(10) ところ……

室	柱
港	筆
通	感
題	箱
林	道
間	詩
顔	園
図	開
客	話
活	思

② 次のじゆく語と反対の意味のじゆく語を、あとの□から一つえらんで、漢字に直して書きましよう。

(1) 来年

(2) 登山

(3) 短所

(4) 終了

(5) 部分

(6) 自然

げざん	じんこう	かいし	ぜんたい	ちようしよ	きよねん
-----	------	-----	------	-------	------

チャレンジドリル②

2	1
(4) (1) (9) (5) (1)	(1) (5) (1)
開始 去年 通 林 港	道 柱 活
(5) (2) (10) (6) (2)	(2) (6) (2)
全体 下山 感 図 室	思 園 客
(6) (3) (7) (3)	(3) (7) (3)
人工 長所 題 詩	顔 話
	(8) (4)
	間 筆
	開 箱

漢字を読む

正答数

20

マーク



月 日 年 組 番

名前

次の文の——線の漢字の読み方を、ひらがなで書きましょう。

(1) テストを**開始**する。

〓

(11) **屋上**で絵をかく。

〓

(2) **重い荷物**を持つ。

〓

(12) **大きな声**で**返事**をする。

〓

(3) **電球**をこがかんする。

〓

(13) **二階**に上がる。

〓

(4) **皿**をあらう。

〓

(14) **有**り**合**わせのざいりよう。

り

(5) **南の島**に行く。

〓

(15) **ベッド**で**横**になる。

〓

(6) **車**の**運**転**を**する。

〓

(16) **波**打ちぎわであそぶ。

〓

(7) **プール**で**泳**ぐ。

〓

(17) **ねだん**が**安**い。

い

(8) **夏祭**りに出かける。

り

(18) 今日**は**とても**寒**い。

い

(9) **童話**を読む。

〓

(19) **木**が**根**をのばす。

〓

(10) **苦**い菓を飲む。

い

(20) **鳥**が**木**に**集**まる。

まる

漢字を読む

(17) (13) (9) (5) (1)
やす(い) にかい どうわ しま かいし

(18) (14) (10) (6) (2)
さむ(い) あ(り) にか(い) うんてん にもつ

(19) (15) (11) (7) (3)
ね よこ おくじょう およ(ぐ) でんきゆう

(20) (16) (12) (8) (4)
あつ(まる) なみ へんじ なつまつ(り) さら

漢字を書く

月 日 年 組 番

名前

正答数

16

マーク



次の文の——線のひらがなを、漢字に直して書きましょう。

(1) 岩のけんきゆうをする。

(2) あたにかいお茶を飲む。

かい

(3) きちんとせいれつする。

(4) うつくしいたやけ。

しい

(5) びょういんで手当てを受ける。

(6) しゃしんをとる。

(7) 長いたびじに行く。

(8) 着ていくようふうをえらぶ。

(9) まとにめいちゆうする。

(10) びょうどうに分ける。

(11) 急なさを上る。

(12) 詩をあじわう。

わう

(13) しんけんにしようぶする。

(14) むねをそらす。

らす

(15) ちゆういして見る。

(16) ボールをはこに入れる。

漢字を書く

(13) (9) (5) (1)
勝負 命中 病院 研究

(14) (10) (6) (2)
反(らす) 平等 写真 温(かい)

(15) (11) (7) (3)
注意 坂 旅路 整列

(16) (12) (8) (4)
箱 味(わう) 洋服 美(しい)

国語じてんのかい方

正
答
数

11

マ
ー
ク



月 日

年 組

番

名前

① つぎの「ア」ウのことばを、国語じてんに出てくるじゅんにならべかえましょう。

- | | | | | | | | | | | | |
|-----|---|------|---|------|---|------|---|---|---|---|---|
| (1) | ア | うんどう | イ | えいが | ウ | あさひ | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |
| (2) | ア | そうじ | イ | ちりとり | ウ | ほうき | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |
| (3) | ア | がっき | イ | かいがら | ウ | かんしゃ | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |
| (4) | ア | ピント | イ | ヒット | ウ | ヒント | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |
| (5) | ア | てんぷら | イ | てんし | ウ | てんき | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |
| (6) | ア | しつと | イ | しつど | ウ | シート | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |
| (7) | ア | こおり | イ | コース | ウ | こんだて | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |
| (8) | ア | ボール | イ | ポール | ウ | ホール | 〇 | ↓ | 〇 | ↓ | 〇 |

② つぎの文の——線のことばの意味を、それぞれ下から一つずつえらびましょう。

- | | | | |
|-----|---|---|---|
| (1) | ア | 日 <small>ひ</small> が <small>さ</small> を <small>さ</small> す。 | 〇 |
| | イ | 西 <small>にし</small> 日 <small>ひ</small> が <small>さ</small> す。 | 〇 |
| | ウ | こ <small>し</small> に <small>は</small> 刀 <small>はち</small> を <small>さ</small> す。 | 〇 |
| | | | 〇 |
| | | | 〇 |
| | | | 〇 |
- 1 さしはさむ。
- 2 入りこむ。照らす。
- 3 高く持ち上げる。かざす。

- | | | | |
|-----|---|--|---|
| (2) | ア | 人 <small>ひと</small> を <small>だ</small> き <small>お</small> こ <small>す</small> 。 | 〇 |
| | イ | 朝 <small>あ</small> 五 <small>ご</small> 時 <small>じ</small> に <small>お</small> こ <small>す</small> 。 | 〇 |
| | ウ | 車 <small>くるま</small> で <small>じ</small> 故 <small>こ</small> を <small>お</small> こ <small>す</small> 。 | 〇 |
| | | | 〇 |
| | | | 〇 |
| | | | 〇 |
- 1 横よこになつたものを立たせる。
- 2 ものごとなどを生なじさせる。
- 3 目を覚さませる。

- | | | | |
|-----|---|--|---|
| (3) | ア | 客 <small>きやく</small> の <small>あし</small> が <small>とほ</small> の <small>く</small> 。 | 〇 |
| | イ | 通 <small>つう</small> 勤 <small>きん</small> の <small>あし</small> が <small>み</small> だ <small>れ</small> る。 | 〇 |
| | ウ | 試 <small>し</small> 合 <small>あ</small> で <small>あし</small> を <small>いた</small> め <small>る</small> 。 | 〇 |
| | | | 〇 |
| | | | 〇 |
| | | | 〇 |
- 1 交通手段しゆだん。
- 2 おとずれること。行き来。
- 3 どう体をささえる部分。

国語じてんのつかい方

1

(1)

ウ↓ア↓イ

(2)

ア↓イ↓ウ

(3)

イ↓ア↓ウ

2

(3) (2) (1) (7) (4)

ア 2
ア 1
ア 3
イ↓ア↓ウ

イ 1
イ 3
イ 2

(8) (5)

ウ 3
ウ 2
ウ 1
ウ↓ア↓イ

(6)

ウ↓ア↓イ

ローマ字

月
日
年
組
番
名前

正答数

20

マーク



1 つぎのローマ字をひらがなで書きましよう。

- (1) hana ()
- (2) yuki ()
- (3) nekkô ()
- (4) tukue ()
- (5) ginkô ()
- (6) mizutori ()
- (7) okâsan ()
- (8) renshû ()

2 つぎのことをばをローマ字で書きましよう。

- | | |
|---------------------|------------------|
| (7) ちゅうい
_____ | (1) かさ
_____ |
| (8) さんぽ
_____ | (2) いぬ
_____ |
| (9) りょこう
_____ | (3) ふゆ
_____ |
| (10) がんたん
_____ | (4) すし
_____ |
| (11) きんぎょ
_____ | (5) きって
_____ |
| (12) ひょうばん
_____ | (6) さくら
_____ |

ローマ字

		2	1
(7) tyûi (chûi)	(1) kasa	(5) (1)	ぎん はな こう
(8) sanpo	(2) inu	(6) (2)	み ゆき ず とり
(9) ryokô	(3) huyu (fuyu)	(7) (3)	お ね か っ あ こ さん
(10) gantan	(4) susi (sushi)	(8) (4)	れん つ し く し え ゆう
(11) kingyo	(5) kitte		
(12) hyôban	(6) sakura		

漢字の部首

月 日 年 組 番

名前

正答数

12

マーク



1 つぎの部首名の漢字を、あとの□から二つずつえらんで書きましょう。

(1) うかんむり

^ . ^

(2) くさかんむり

^ . ^

(3) さんずい

^ . ^

(4) いとへん

^ . ^

(5) しんにょう

^ . ^

(6) おおがい

^ . ^

(7) きへん

^ . ^

近 顔 村 細 決 週 頭 客 花 家 池 紙 校 草

2 つぎから二つの漢字をえらんで、へんとつくりを組み合わせてできる漢字を書きましよう。

(1) 青・カ・日

^ ^

(2) 糸・木・主

^ ^

(3) 言・十・田

^ ^

(4) 口・白・矢

^ ^

(5) 女・山・市

^ ^

漢字の部首

2	1
(1)	(5) (1)
晴	近 客
	週 家
(2)	
柱	(6) (2)
	顔 花
(3)	頭 草
計	
	(7) (3)
(4)	村 決
知	校 池
(5)	
姉	(4)
	細
	紙

ものがたりの内よつを読みとる

正答数

4

マーク



月 日 年 組 番

名前

つぎの文しようを読んで、下のもんだいに答えましよう。

「なおよきと、かずお、あきら、ひろ子の四人は、サクラ小学校二年二組のなかまです。」

「秋のてんらん会には、君たちもかならず何か出しなさい。」^①めいよばんかいのチャンスだから。」

「メイヨバンカイって、どんなこと？」^②

四人を代表して、なおよきがききました。

「君たちはカボチャにいたずらしたり、夏休みの宿題帳をやらなかったりしたから、校長先生も、ほかの先生も、学校中の子どもたちもみんな、君たちをだらしのない子だと思っているのよ。でも、てんらん会に、人のおどろくような作品を出せば、先生も、友だちも、なおよきくんたちは、やっぱりちゃんとした子もだなど、見直すようになるでしょう。めいよばんかいというのは、そういうこと。」
洋子先生はこう答えました。

「さあ、めいよばんかいです。」^③

四人はかずおのうちに集まって、相談しました。「ロボットはどうだろ。紙の箱でロボットを作って、ぼくたちがその中に入って動くんだ。」
「もっとおもしろいの、ないかなあ。」
「そうだわ。もっと、もっと、人のびっくりするようなもの、ないかしら。洋子先生、人のおどろくようなものを作ればいいと言ったもの。」

「ああでもない、こうでもない、と言っているうちに、^④なおよきがにこにこはじめました。」

「あのね、なみだって、しよっぱいだろ。なみだから作ったしおを出したら、みんな、あつというよ。」

「なるほど。理科のじっけんというわけね。それやってみましようよ。」

ひろ子が真っ先にさんせいし、あきらも、かずおも「うん、やろう。」と、はりきりました。

(古田足日「モグラ原っぱのなかまたち」より)

(1) ^①めいよばんかいのチャンスとは、どのようなことですか。□□にあてはまることを文しよう中からぬき出しましよう。
先生や学校のみんなから

子だと

思われているのを、

子だと

見直してもらうこと。

(2) ^②メイヨバンカイと、かたかなで書かれているのはなぜですか。つぎから一つえらびましよう。

- 1 もともとは外国からきた言葉だから。
 - 2 強く言った言葉なので強調するため。
 - 3 意味がわからないということを表すため。
- 〔 〕

(3) ^③四人はかずおのうちに集まって、相談しましたとありますが、何を相談したのですか。□□にあてはまることばを文しよう中からぬき出しましよう。

に

何を出すかを相談した。

(4) ^④なおよきがにこにこはじめましたとありますが、それはなぜですか。つぎから一つえらびましよう。

- 1 先生にほめられたことを思い出したから。
 - 2 いい考えを思いついたから。
 - 3 自分の意見にみんなが反対しなかったから。
- 〔 〕

ものがたりの内おづを讀みゆる

(1) だらしない ちゃんとした

(2) 3

(3) てんらん会

(4) 2

せし明文の内よつを読みとる

正答数

4

マーク



月 日 年 組 番

名前

つぎの文しよを讀んで、下のもんだいに答えましよう。

① 今、地球ちきゅうに生きのこっているゾウのなかまには、大きく分けて、アジアゾウとアフリカゾウがいる。見分け方は、アフリカゾウのほうが体も耳も大きい。動物園②に行ったら、たしかめてみよう。

ゾウを目の前にしたら、もう一つ、たしかめたいことがある。

動物学者の遠藤秀紀えんどうひできさんは言う。

「いいですか、ゾウの鼻はなをよく見てください。本当に鼻③でしようか？

自分、つまりヒトの鼻とくらべると、はつきりとわかるはずですよ。」

「じつは、鼻と見えるのは、鼻といっしょに上くちびるが、グリーンと長くのびたものなのです。」

たしかにゾウには、上くちびるが見当たらない。つまり、上くちびるがのびた先に、鼻のあながある。

このように、ゾウのとてもかわった鼻④(上くちびる)は、息いきをして、においをかくほかに、さまざまに使われ方をする。

まず思④いかぶのが、手のように使うこと。よくゾウは、四本の足と一本の手をもつ動物といわれる。

えさを口はちに運んだり、丸太を持ち上げた

り、いろいろな動きができる。
また子どものゾウは、むれで出歩く時、親のしっぽを鼻でつかんでいることもある。あぶない目にあわないように、小さい子どもが、お母さんと手をつなぐのとなっている。親子のふれあいだ。

(山本省三やまふもとせいざん)「ゾウの長い鼻には、おどろきのわけがある！」より

① 今、地球に生きのこっているゾウのなかまとは何ですか。文しよの中から二つぬき出しましよう。

Two empty brackets for writing answers to question 1.

② 動物園に行ったら、たしかめてみようとなりますが、どのようなことをたしかめるのですか。つぎから一つえらびましよう。

1 ゾウはアジアとアフリカにしかないこと。

2 アフリカゾウのほうが数が少ないこと。

3 動物園にいるゾウがアジアゾウかアフリカゾウかということ。

③ 本③に鼻でしようかとありますが、ゾウの鼻はどのようなものかと言っていますか。□にあてはまることばを、文しよの中からぬき出しましよう。

Two vertical rectangular boxes with dashed lines, labeled 'が' and 'もの'.

④ ゾウは鼻を手のように使うとありますが、そのような使い方としてあてはまらないものをつぎから一つえらびましよう。

1 息をして、においをかく。

2 えさを口に運ぶ。

3 丸太を持ち上げる。

4 子どものゾウが親のしっぽをつかむ。

Two empty brackets for writing answers to question 4.

せつ明文の内よつを読みとる

- | | | |
|-----|-------|--------|
| (1) | アジアゾウ | アフリカゾウ |
| (2) | 3 | |
| (3) | 上くちびる | 長くのびた |
| (4) | 1 | |

作文

月 日

年 組

番

名前

正答数

4

マーク



三年生のクラスでは「自分のとくいなこと」について作文をあつめて、クラスの新聞にのせることになりました。

(1) つぎのそれぞれに答えて、作文に書くことをきめましょう。

① あなたの「とくいなこと」は何ですか。ちょっとだけとくいなことでもかまいません。

② ①で書いたことについて、どんなところがとくいなのか、せつ明めいしましょう。

③ どうして、①で書いたことがとくいになったのですか。

(2) 右に書いたことを見ながら、つぎの点にちゅういして作文を書きましょう。

へちゅういする点

① 二つの段落に分けて書きましょう。

② 一つめの段落では、あなたの「とくいなこと」をしようかいしましょう。

③ 二つめの段落では、どうやってとくいになったのかを書きましょう。

④ 六行から八行の間(一〇一字から、一六〇字の間)で書きましょう。

作文

P3JA3_008

〈れい〉

(1) ① けん玉

② 玉を一回もおとさないで、つづけて三つのさらにのせて、玉をけん先にさすわざをくり返すことができる。

③ ようち園の先生に教えてもらってすきになり、毎日練習するようになったから。

(2) わたしのとくいなことは、けん玉です。とくいなところは、玉を一回も落とさないで、つづけて三つの皿にのせて、玉をけん先にさすわざをくり返すことです。

わたしがけん玉を始めたのはようち園のときです。先生に教えてもらってすきになり、毎日けん玉の練習をつづけました。今では、とくいだと言えるほど上たつしました。